

15 周年記念号

VG 槻輪創設

15 周年を迎えて

会長 大岡成一

ボランティアグループ 槻輪(きりん) (愛称:VG 槻輪)は、平成 16 年高槻市コミュニティ推進課主催の「高槻市まちづくり塾 第 4 期生」の OB が中心になって準備会を重ね、同年 11 月 18 日に設立いたしました。

私は現役時代製造会社「縦の組織」で働いてきましたので社会活動(ボランティア活動)の横の社会をあまり知りませんでした。そこで富田の本照寺の前住職日野照正先生に、ボランティア活動で大事な事は何でしょうかとお聞きしたら次の三つの事をおっしゃいました。
(1)まず自分の健康、そして家族の健康に家庭の健康が大事です。
(2)回りの方々(グループや他の団体)の支援と協力がが必要です。
(3)縦・横のコミュニケーションが大事です。
このことは会の活動で非常に大切なことをいつも

感じています。

会の創設後活動を摸索しながら歩み続け、この秋で 15 周年を迎えることとなりました。

これもひとえに、皆様方のご指導とご支援のおかげといつも感謝しております。

平成 26 年 11 月 19 日 VG 槻輪創設 10 周年記念パーティーを市役所総合センター 15 階展望レストランで開催しました。



VG 槻輪創設 10 周年記念会場の写真

今年 4 月の総会 15 周年記念パーティーをしようという事になりました。

総会の場所は、駅前の高槻クロスパルで行い、親睦会は同じ駅前つきの井で開催しました。創設 15 周年記念も同じ場所です計画することになりました。

VG 槻輪の活動範囲は広いのですが、10 周年記念



メガネリサイクルポスター

後に新たに会員の提案で、日本スリランカ友の会関西支部の活動、「日本では、たくさんの方の角膜の提供をスリランカから受けているお返しに、不用になった眼鏡を「メガネの三城」の協力をいただいで、検眼ならびにクリーニング・メンテナンスをして、眼鏡を必要とするスリランカの人々へ届けている」ことを知り協賛しメガネのリサイクル活動を始めました。

今後は、会員も高齢化して来ましたが、大きなこととは出来ませんが、小さなことでも取り組んで活動をしていきたいと考えています。

皆様のご協力を今まで同様にご利用します。



私と「VG 槻輪の会」の絆

私が「VG 槻輪」のことを知ったのは、平成 22 年 9 年前のことです。

当時私は、両膝変形性関節炎で歩くことも困難で、

南芥川町の「カイロプラクチック」(整骨)へ治療に通っていました。先生が「痛くても歩きなさい」と言われて、一生懸命歩いていました。その先生は「高槻市のいろんな団体や組織のことをよくご存じで「VG 槻輪」と言う会がある、あちこち見学したりボランティアをしたりしている」そんな会に入ってみたらどうかと勧めて下さいました。そして会長さんの電話番号を調べてくださったのです。

私に出来るかしらと不安もありましたが、その番号に電話をして会長さんのお宅を訪ねることにしました。驚いたことに会長さん宅は私と同じ町内しかも阪急電車の線路を隔ててすぐお隣と言ってもいいくらいの場所でした。早速お伺いしてお話を伺いました。でも最初に感じた私に出来るかしらボランティアなんて、という不安がどうしても拭えません。でもその時会長さんの言われた「参加することも立派なボランティアですよ」というお言葉が私を後押しして、入会させて頂くことにしました。

その後、月行事には大体

参加させていただきましたが。会の第一目標である「ボランティア」は私が最も高年齢であることもあり、皆さんに親切にしていたいただき助けていただくことが多くボランティアをするどころか、ボランティアしていただいています。



10 周年記念式典ではカメラ女子として活躍

3 年前、大阪市の高齢者住宅へ入居してからも会員として置いていただき心身の衰えとともに、行事には参加できなくなりましたが、会報への投稿が唯一の楽しみになっています。

VG 槻輪 牧戸富美子

☆★☆☆☆☆★☆☆☆☆☆

パソコン教室受講者 下村哲夫

VG 槻輪創設 15 周年おめでとうございます。

清水コミュニティセンター・郡家公民館でのパソコン教室、大変お世話になりました。何もできなかった私も、自分なりにパソコンが打てるようになり、老人会・お寺の会計に役立っております。

VG 槻輪の記念パーティーですが、当日は老人会の行事がありまして参加できません。申し訳ございません。



2015 年 6 月牧戸さん卒寿お祝いの色紙を送る

最初の投稿は 2010 年 5 月の「メールに嵌って」というので、それからは会長さんのお上手な「おだて」